

関東141号

1. 来歴

- 1) 系統名 関東141号 (旧系統名 作系36)
- 2) 交配組合せ ひめあやか(母) × 関東130号(父)
- 3) 用途 青果など

2. 特性の概要

1) 主な特性

萌芽性はやや良。いもの皮色は濃赤紫、肉色は淡黄である。いもの形状は短紡錘形、大小はやや小で、揃いは両者ともやや整である。条溝、皮脈は無で、裂開は微で、外観はやや上である。上いも重はマルチ早掘栽培、マルチ標準栽培ともに「ベニアズマ」より多収である。蒸しいもの肉色は黄で、肉質は中、調理後の黒変はやや少、食味は中～やや上である。病虫害抵抗性は、サツマイモネコブセンチュウはレースにより反応が異なり強または中、立枯病に中、つる割れ病に中、黒斑病に中である。貯蔵性は易である。本系統は、小さいいもが多数収穫できるタイプである。外観が良く、形状や大小の揃いに優れ、1個重は軽いものの、マルチ早掘栽培およびマルチ標準掘栽培で多収、食味も中～やや上であることから、青果用かんしょとして有望である。

2) 育成地における栽培試験成績 (平成25年度)

マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	繊維	黒変	食味
関東141号	427	140	158	6.8	32.8	やや上	濃赤紫	短紡	黄	中	中	やや少	中～やや上
標) ベニアズマ	306	100	234	3.3	36.2	やや下	濃赤紫	紡	淡黄	粉	中	やや多	中～やや上
比) 高系14号	331	108	236	3.5	32.0	やや下	赤紫	紡	黄白	中	やや少	やや少	中

マルチ早掘栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	繊維	黒変	食味
関東141号	269	151	148	4.6	32.8	やや上	ごく濃赤紫	紡	黄	中	やや少	やや少	やや上
標) ベニアズマ	178	100	183	2.6	36.3	やや下	濃赤紫	紡	淡黄	粉	中	中	中～やや上
比) 高系14号	251	140	210	3.0	32.8	中	赤紫	紡	黄白	中	中	少	中

萌芽性、貯蔵性および病虫害抵抗性

品種・系統名	育成地		病虫害抵抗性 (育成地)				
	萌芽性	貯蔵性 (H24)	ネコブセンチュウ		立枯病 (香取)	つる割れ病	黒斑病
			場内 (谷和原)	現地 (香取)			
関東141号	やや良	易	強	中	中	中	中
ベニアズマ	中	難	やや弱	やや強	強	中	やや強
高系14号	やや不良	中	弱	中	やや弱	中	やや強